

第1学年 図画工作科学学習指導案

1 題材名 「おって たてて ゆめの まち」(工作)

2 題材の考え方

本題材は、紙を折って切ったり立ててみたりする過程を楽しみ、自分の表したいものを、紙の切り方や立て方を工夫しながら表すことをねらいとしている。

この題材を通して子どもたちは、粘土や空き箱だけでなく、平面である紙からも立体的に表すことができることの面白さを実感することができる。また、既習学習「みんなでかざろう」から、紙を折って切ることは経験しており、そこからさらに「立てる」という活動を通して、紙の切り方や立て方を工夫しながら自分の表したいものを生き生きと表現することができると思う。

であいの段階で、教師が実際に紙を折って立てる表し方を演示して見せ、平面的な紙が立体的な形に変化する様子を視覚的にとらえさせることで、子どもたちは紙を使って立体に表したいものを明確にもつことができる。さらに、グループで一つの町づくりをするという終末段階への見通しをもたせることで、表現活動への意欲を高めることができる。また、表現の段階で友達とかかわることで、友達の表現のよさを自分の表現に採り入れたり、新しい発想をふくらませたりしながら、子どもたちがさらに活動を広げることが考えられる。さらに、鑑賞の段階で、グループでつくった作品を鑑賞し合うことで、個々の表現のよさや全体でつくることの楽しさを認め合い、作りだす喜びを感じることができると思う。

3 人とかかわりを大切に学習指導の工夫

○ 人とかかわりを意識した意欲づけの工夫

であいの段階において、教師が紙を折って立てる方法を演示してみせ、「つくったものを持ち寄って、みんなでゆめのまちをつくろう！」と教師が提案することで、子どもたちは友達との交流を楽しみにしながら意欲をもって活動を進めることができると思う。

○ 自他の表現のよさや工夫を交流し合える時間、場、グループの設定

表現の段階において、4人グループで活動させ、互いの表現のよさや工夫を交流しやすいようにする。また、「みてみてコーナー」を設置し、各々がつくった作品を自由に掲示、鑑賞させることで、友達の作品のよさや工夫に気づき、自分の思いにあった表現を探ったり、工夫したりできると思う。

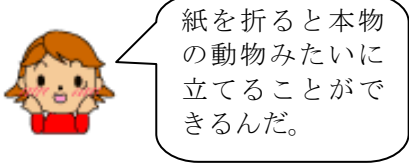

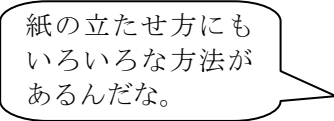
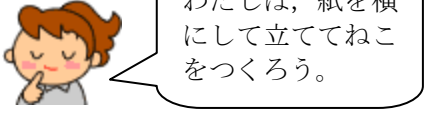
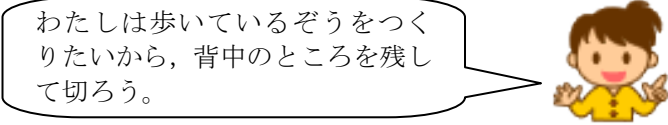

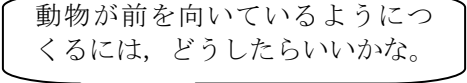
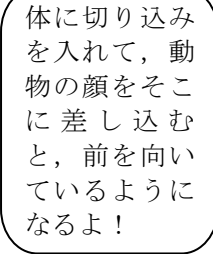

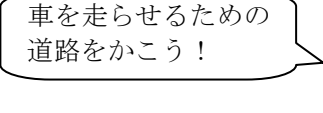
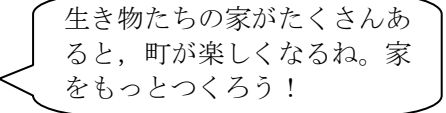
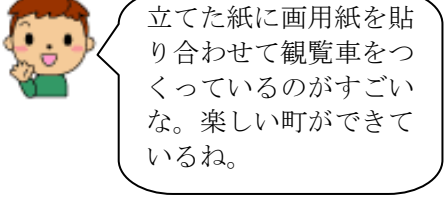
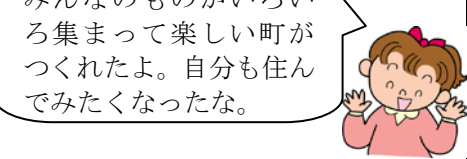
○ 自他の表現のよさや工夫を伝え合ったり認め合ったりできる鑑賞活動の工夫

鑑賞の段階において、各グループの作品を鑑賞する場を設定する。自分達が工夫したことについて発表し、その後、切り方、立たせ方を手掛かりに作品を自由に鑑賞し、感じたことを交流し合う。グループごとに交流し合うことで、それぞれの表現のよさや楽しさを友達と一緒に味わうことができる。

4 本題材の目標

- 紙を折って切ったり、立ててみたりする過程を楽しみ、表したいものをつくることに意欲的に取り組もうとする。(造形への関心・意欲・態度)
- 紙を立てた形から思い付いて、「いたらいいな」「あったらいいな」と思うものを考えることができる。(発想や構想の能力)
- 自分の表したいものを、紙の立て方や切り方を探ったり工夫したりしながら表現することができる。(創造的な技能)
- 活動の交流や作品を通して、表現のよさや楽しさに気付くことができる。(鑑賞の能力)

5 指導計画（4時間）

	ねらい	学習活動	配時
であい	紙を折ったり切ったりしながら立体的な作品をつくることに興味をもち、表したいもののイメージをもつ。	<p>1 教師が二つ折りにした紙を切って生き物などの形をつくる様子を見て、紙の切り方や立たせ方のおもしろさに気づき、立体的な作品づくりの仕組みを知る。そして、学習の終末段階にはグループで一つの町をつくるという見通しをもつ。</p>   <p>2 画用紙を二つ折りにしていろいろな立て方を試し、自分ならどんなものをつくってみたいか表したいもののイメージをもつ。</p>  	1年2組 本時 15分
表現	折った紙に自分が表したいものの外枠をかき、自分の思いに合った切り方や立たせ方を探ったり、工夫したりして表現する。	<p>3 折って立てた紙を見ながら、自分があらわしたいものをつくるには、折った紙のどこを切るとよいかを考える。</p>  <p>4 自分の表したいものにあった切り方、立たせ方を探しながら工夫して表す。</p>     <p>5 つくったものを持ち寄り、模造紙の上に作品を並べたり背景を付け加えたりして、グループで話しながら夢の町をつくる。</p>  	30分 90分 1年3組 本時 30分
鑑賞	グループで交流し合い、互いの表現のよさや楽しさに気付く。	<p>6 互いのグループの作品を見合い、切り方、立て方のよさを交流し、全体でつくることの楽しさを味わう。</p>  	15分

第1学年2組 図画工作科学習指導案（であい・表現）

6 本時目標（1/4）

- 紙を折って切ったり立ててみたりすることを楽しみながら、表したいものをつくることに意欲的に取り組もうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 立たせた紙の形から、「いたらいいな」「あつたらいいな」と思うものを考えることができる。
(発想や構想の能力)
- 自分の表したいものを、紙の立て方や切り方を探ったり工夫したりしながら表現することができる。
(創造的な技能)

7 本時学習にあたって

教師が実際に紙を折って立てる表し方を演示してみることで、平面的な紙が立体的な形に変化する様子を視覚的にとらえる。そして、グループで一つの町づくりをするという終末段階への見通しをもたせることで、表現活動への意欲を高めることができる。また、表現の過程で、互いの作品を見合う「みてみてコーナー」を設けることで、友達の実表現のよさを自分の表現に採り入れたり、新しい発想をふくらませたりしながら、活動を進めることができると考えられる。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援
<p>1 教師が提示する作品例を見て、本時の学習内容とめあてをつかむ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;">折ると紙を立てることができるんだ。おもしろい。わたしもつくりたいな。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;">最後にみんなで町をつくるんだ。たくさんつくりみんなで楽しい町にしたいな。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の見通しをもたせるために、教師が作品づくりを演示してみせる。 ○ 本時学習の意欲を高めるために、本題材の終末段階にグループで一つの町づくりを提案する。
<p>めあて かみのきりかたやたたせかたをくふうして、まちにいたらいいな、あつたらいいなとおもうものをつくろう。</p>	
<p>2 画用紙を二つ折りにしていろいろな立て方を試し、自分ならどんなものをつくりたいか表したいもののイメージをもつ。</p> <div style="margin-top: 10px;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 250px;">紙の立たせ方を変えれば、生き物だけでなく、乗り物や家もつくれそうだな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚的に分かりやすいように、演示と掲示物で示す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 【たて型】 【よこ型】 【はこ型】 </div>
<p>3 自分の表したいものにあつた切り方、立たせ方を探しながら工夫して表す。</p> <p>(1) 自分があらわしたいものをつくるには、折った紙のどこを切るとよいかを考え、切るところを線でかく。</p> <p>(2) 友達と作品を見合いながら、自分の思いにあつた作品をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 切る部分を間違っ二つになってしまった場合は、ホチキスで止める等の支援をした上で、やり直しを勧める。 ※ 友達の切り方や立たせ方を自分の作品に生かすことができるように、「みてみてコーナー」を自由に見て、子ども同士で教え合える場をつくる。 ※ グループでの交流が活発に行われるように、自分の作品の説明をした後に質問タイムを設ける。
<p>4 自分がつくった作品の交流をする。</p> <p>(1) 作品をグループの中で見せ合い、切り方、立て方のよさや面白さ、つくり方の工夫等を話したり聞いたりする。</p> <p>(2) グループでの交流をもとに、全体交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時への意欲をもたせるために、様々な切り方、立て方の参考作品を見せる。
<p>5 本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="margin-top: 10px;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 250px;">○○ちゃんは、「はこ型」にタイヤをつけて車をつくっていたよ。私も次の時間に「はこ型」で何かつくってみたいな。</p> </div>	

第1学年3組 図画工作科学習指導案（鑑賞）

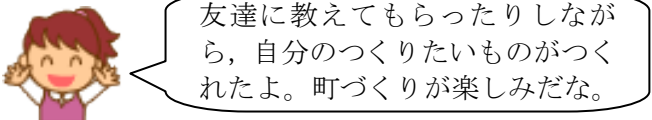
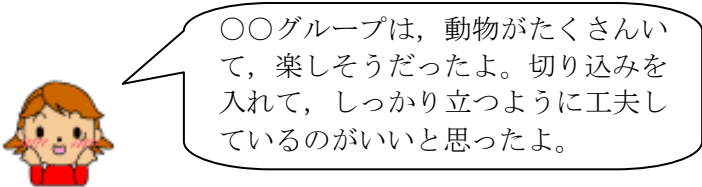
6 本時目標（4／4）

- 町づくりや作品交流を通して、表現のよさや楽しさに気付くことができる。（鑑賞の能力）

7 本時学習にあたって

前時までにつくった自分が表したいものの作品を持ち寄り、グループごとに模造紙の上に並べる。そして、背景等を模造紙に付け加えながら、夢の町をつくる。生活班の4人グループで活動を進めることによって、新しい発想をふくらませたり、より楽しくするために相談し合ったりと活発な言語活動が行われると考える。そして、グループごとに町の紹介や交流をしていくことで、自分たちにはなかった表現のよさや全員でつくることの楽しさに気付くことができると思う。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援
<p>1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p>  <p>友達に教えてもらったりしながら、自分のつくりたいものがつくれたよ。町づくりが楽しみだな。</p>	<p>○ 本時学習の見通しをもたせるために、前時で作った自分の作品を準備しておく。</p>
<p>めあて グループのともだちとちからをあわせて、たのしいゆめのまちをつくろう。</p>	
<p>2 自分の作品を持ち寄って、グループごとに夢の町をつくる。</p> <p>(1) 模造紙の上に作品を並べ、つくったものからどんな町になるとよいか話し合う。</p> <p>(2) 話し合ったことをもとに、模造紙に背景を付け加えたり新たに作品をつくったりしながら町をつくる。</p> <p>3 互いのグループの作品を見合い、切り方、立て方のよさを交流し、全体でつくることの楽しさを味わう。</p> <p>(1) クラスを半分に分け、前半グループが後半グループの町を見て回り、後半グループは自分達の町の説明をする。前半、後半を交代して活動を行う。</p> <p>(2) グループ交流を通して見つけた、他のグループの作品のよさを全体で交流する。</p>  <p>○○グループは、動物がたくさんいて、楽しそうだったよ。切り込みを入れて、しっかり立つように工夫しているのいいと思ったよ。</p>	<p>○ つくったものがどんな町にあったらふさわしいか考えることができる場にするために、班の机の上に模造紙を敷く。</p> <p>※ 何をどこに置くと楽しくなるかを話し合わせるために、互いの作品を見ながら、動物の町、公園、不思議な町など自由に考えをふくらませる。</p> <p>※ 町をつくりながら、新しくつくりたいものが見つかったら、発想を認め、さらにつくってもよいことを助言する。</p> <p>※ 活発な交流が行われるように、グループの説明を聞いた後に質問タイムも設けた交流をさせていく。</p> <p>○ 切り方、立たせ方を手掛かりに、自分達にはない作品のよさを発表するよう説明する。</p>